

1 現在の恵庭で、お困りのことや改善してほしいことがありますか？具体的に記載をお願いします。

1-1 まちづくりに参加する人が少ない。社会と繋がる人の割合が少ない。孤立化している。

> 恵庭市は「恵庭市まちづくり基本条例」を制定し、市民主体のまちづくりを進めていくこととしています。市民活動センターが中心となり市民活動を支援しているほか、まちづくりチャレンジ協働事業を実施していますが、近年はコロナ禍に市民活動が停滞し、その後も活動団体の固定化が懸念されます。

会派としては、市民活動の場としてより一層活用していただくために、市民会館や地区会館の貸室時間や減免制度の見直しを市に求めています。また、幅広く市民がまちづくりに参加できるきっかけづくりとして、無作為抽出による市民参加型会議を提案してきました。これに対し、今議会（令和 7 年第 4 回定例会）での市長の所信表明の中で、市民の声をより直接的にまちづくりに反映させる「市民による施策提案制度」を創設するとの発言がありました。

これからも、市民がまちづくりに参加できる環境作りに取り組んでいきます。

1-2 同世代のコミュニティにもっと参加したいが、地元の街で参加する障壁がおおきい。子育てをもっと楽しくするためにも、働いている人であっても集まりやすいコミュニティがあると助かります。一方、一般の人をもっと地域とともにありたいと気づいてもらいたいと思います(押し付けかもしれませんが)

> 市内の保護者を中心とした家庭教育ナビゲーターが中心となり、保護者同士の交流を目的に、移動型サロン「はぴナビカフェ」を月 1 回開催しています。詳しくは、下記のリンクを覗いてみてください。参考になれば幸いです。

恵庭市家庭教育支援団体「えにわはぴナビネットワーク」／恵庭市ホームページ

<https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/soshikikarasagasu/kyouikuiinkaikyouikubu/shakaikyoiku/shogaigakushu/4/18115.html>

1-3 島松駅から北側の踏切（南 20 号線）についてですが、道路幅が狭く歩行者が線路内に入り車を避けなければならない状態です。何度か線路等につまづき転倒者もあり、歩行補助具（シルバーカー）が線路外に落ちて介助することが何度かありました。この危険な踏切に対して対策はできませんでしょうか？

> 南 20 号の踏切については、市教委による通学路安全合同点検（平成 27 年、29 年、令和元

年、4 年）を実施、令和 5 年には恵庭市議会経済建設常任委員会にて現地調査し、その危険性は確認しています。しかし、踏切近くに線路の切替ポイントがあるため通路の拡張は難しいと JR 北海道から回答をいただいております。通学路の安全確保としては、児童生徒への交通安全指導の徹底と、島松駅自由通路整備完了後には通学路として利用できるように関係部署と協議検討することとです。（令和 5 年第 3 回定例会一般質問の答弁） 関連項目 1-11

1-4 ショッピングモールが欲しい。リブで出産できるようにして欲しい。ドラッグストア、ホームセンター多すぎ、偏り過ぎ…

> 市内において、H30 から出産のための入院施設が閉鎖され、市内で出産することができなくなりました。この間、市民からは市内に出産施設を求める声はいただいています。産科医院誘致については、過去に議会で取り上げ、全国的な産科医不足などにより困難な状況だとの答弁でしたが、今議会（令和 7 年第 4 回定例会）では、「出生数が減少している現状を鑑み、誘致の可能性について積極的に取組んでいきたい」との誘致に前向きな市長答弁がありました。

出産施設が市内にない現状では、産科の救急要請は、市外の医療機関への搬送となるため、救急車内での分娩介助に適切に対応するため、助産師を招いての研修会を実施しています。また、経済的支援としては、市外への医療機関への通院にかかる交通費助成（1 回 1,000 円）を 2022 年度（令和 4 年度）から実施しています。今後とも、市民が安心して出産できる環境整備を求めています。

新市街地の検討の中で、上山口地区を主に商業系事業用地としており、既存の商業と重複する業種とならないよう慎重な検討を求めています。実際にどのような企業が立地するかは民間企業の需要予測に基づくものであり、市民の希望に沿うものとなるかは明言できませんが、商業用地として、既存の商業環境とは重ならない魅力的な事業者が立地するよう訴えていきたいと思います。ぜひ、市内での消費・購買にもご協力をお願いします。

1-5 島松駅に売店(コンビニ)があると、便利だと思います！

> かつては恵み野駅、島松駅にもキヨスクがありましたが、採算が採れないことから廃止となった経緯があります。駅内売店については JR の判断になるかと思いますが、近隣にコンビニが欲しいという地域住民の声は認識しています。市としては、建設予定の島松複合施設内への設置に向けて検討していましたが、民間事業者の参加が見込めなかったことから断念しました。

1-6 島松のひがし公園の周辺にいつも路上駐車車が複数止まっており、反対車線をしばらく走ることになるため、困っています。

> 市の道路管理者にその旨を連絡し対応を求めます。もし、その後も状況が続くようであれば、警察に改善を求めていただければと思います。

1-7 恵庭インターチェンジの入口が分かりにくいと思います。

1-8 恵庭インターチェンジに市内から向かう道路の照明が暗く、恐怖を感じます。

> 北海道の管轄にはなりますが、市としても必要な部分については対応を求めています。また、市には、北海道へわかりやすい表示案内を要請するように求めます。

1-9 島松駅、駅前と裏を結ぶ歩道橋の橋の部分ですが、今年の暑さが異常で手元の腕時計の温度計が 47.5 度に達しており、お年寄り 2 名が隅っこで座り込んでいる状態でした。（幸いにも駅の日陰で休んだことにより回復）一歩間違えると後戻りできない状況です。次年度早急の安全対策。及び複合施設から簡易に移動できる歩道橋を設置する等、JR 側と協議が頓挫したから放置ではなく計画性を持ってやってもらいたい。

> 島松駅の歩道橋（自由通路）が高温となっていることは、安全上大きな問題があり、早急に改善が必要です。次年度安全対策が取られるよう求めて参ります。

複合施設からの移動ですが、現在すでに設計が終了しており、駅に接続する設計とはなっていないことから、一度複合施設から出ていただくことになります。以前、駅自体を橋上化し、そこに複合施設を併設するという計画もありましたが、JR との協議が整わなかったことから断念し、現在の駐輪場・駐車場用地に複合施設を建設する計画に変更されています。

1-10 度々こちらで出ています島松フローラルタウン未舗装化道路部分ですが、ようやく市の重い腰を上げてもらい調査・設計までできました。今後はそのまま設計図を寝かせることなく（特に設計図の有効期限切れ（税金のムダ遣い））工事を速やかに実施してほしいです。

> 測量・設計は実施されたところですが、まだ雨水管が整備されていない路線については、雨水管を整備した後の整備となります。雨水管が入っている路線については、早期の実施を検討しているところであり、私たちとしても早期整備を求めて参ります。

1-11 島松駅付近の踏切（南 20 号島松線）幾度となく恵庭市と JR に働きかけをしていただきましたが、とうとう令和 7 年 1 月 29 日 号外 17 号にて踏切道改良促進法による改善指定されました。来年度末までに改善計画の提出が求められていますので積極的に安全化提言をお願いいたします。

参考までに

- ・当該踏切付近制限速度 60 キロ（40 キロ解除看板あり）
- ・道路幅も狭く車両の離合時、歩行者については線路内に立ち入らなければならない
- ・危険を回避するために、最初から路線内に入り転倒者が発生している
- ・踏切が山のような設計になっているために、車種にもよるが歩行者が一時的に見えなくなることがある。

犠牲者が発生する前に早期改善をお願いいたします

> 所管する部署に確認をしましたが、改善計画については、踏切へのセンサーの設置で完了しているとのこと。

駅が近いため、踏切を広げることができないと聞いていますが、ご指摘の通り、歩行者の安全性には大きな課題があると思いますので、どのような対策が可能なのか、検討を求めていると思います。 [関連項目 1-3](#)

1-12 島松停車場線・島松大通り・島松千歳線の合流地交差点（セブンイレブン付近）の信号機の東西、南北の信号点灯時間が極端に違います。タイミングによっては次の交差点を青信号で抜けるために速度超過や停車時間が長いために抜け道として住宅街に進入する車両と人命に関わるほど危険な状態です。信号の点灯時間の再検討を要望できませんでしょうか？

> 点灯時間について、現地で確認をしたところ、ご指摘の通り時間の差が大きいことが把握できました。現状の交通量と一致していないと考えられることから、恵庭市から要望を行うよう求めていると思います。

1-13 市島松内にある小学校から高校の付近の道路ですが、千歳方面の新規進出各事業者の関連なのか、北広島・札幌方向から恵庭市内を通らない抜け道として先の教育関連施設付近の車両が危険なほどに高速化されています。警察と協力して早期安全対策及び、外環道的なものの計画等その場のやっつけ事業ではなく住宅地活性化等を将来性を見据えた計画はできないものなのでしょうか？

> 現在新たな市街化区域の拡大を見据えて、交通量調査や道路網の計画策定も行っています。ご指摘の道路については、新たな道路を整備しても抜け道としての利用は減少しないと考えられることから、別に速度抑制策などの安全対策を実施できるよう求めていると思います。

1-14 日ハム二軍誘致について。署名活動が盛んに行われていますが、市で負担する金額がどのくらいになるということを示して、その上でどうするか決めて行くべきと思っています。

> 財政負担などの条件については、これまでも質問を重ねたところですが、協議中であることや、

相手先を理由に、現時点ではまったく明らかにはされていません。

構想自体は市民の期待も大きく、前向きに捉えていますが、今後協議が進展していくとすれば、決定よりも前の段階で、市の負担額などは明らかにされなければならないと考えています。 関連

項目 2-3, 2-15,3-5

2 現在の恵庭市の政策について、要望事項があれば、お聞かせください。

2-1 行政がなんでもやるのではなく、コーチングに近い形の市民団体支援がよいと思う。車社会に適した場所で、市民をつなげる活動を継続発展させていただきたい(箱物だとなかなかいかない。人がすでにいるところで)

行政がネットワークづくり支援のために、HP や slack などのオンラインプラットフォーム、市民活動保険の提供も有効だと考える。単純に少額の補助金出すことも助かります。

> 行政によるネットワーク作り支援として、オンラインプラットフォームを活用している他の自治体を参考に、まずは会派として調査したいと思います。合わせて、地域活動保険の提供についても札幌市などでは実施していますので、調査研究していきます。

飛騨高山 DX 推進官民連携プラットフォーム | 高山市

<https://www.city.takayama.lg.jp/shisei/1005252/1021045.html>

市民活動保険 横浜市

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shiminkyodo/shien/hoken/hoken.html>

札幌市地域活動保険（地域のボランティア活動保険）／札幌市

https://www.city.sapporo.jp/shimin/shinko/chounaikai/hint/tiikikatudouhoken_top.html

2-2 子供中心のまちづくりを是非お願いします。みんなが自分の事で精一杯なのはもったいない。

> 子ども中心のまちづくりには、当事者である子どもと子育て世代の声を拾うことが重要だと考えます。恵庭市議会では、子どもの声を聴く取組として 2021 年（令和 2 年）に市内中学校を対象に子ども未来議会を実施しました。また、今年 11 月には柏陽中学校の総合的な学習の時間を活用したまちづくり提言の意見交換を実施しました。今後のまちづくりに活かしていきたいと考えています。

また、市民と歩む会では、市の附属機関の委員として子育て世代が参加しやすいように、会議時間の設定やリモート参加の実施など要望してきました。これからもなかなか直接市政に届かない声

を聴く取組を積極的に行っていきます。

2-3 ファイターズ 2 軍の積極的誘致は賛成です。目先の税収ばかり求めて誘致を失敗しないように柔軟な対応を希望します。また、誘致に成功した際には周辺の道路整備（通学路の安全対策）も求めます

> ファイターズ 2 軍誘致に向けては、5 万筆以上の署名が集まるなど市民の期待は高まっている一方、施設整備に公費投入がどれくらいになるのか、その後のランニングコストも含めて、議会として慎重な議論が必要になってくると思います。現時点では議会側への具体的な情報提示はありませんが、公費負担が市民にとって過度にならないよう、また市民の安全環境整備も含めてチェックしていきます。 関連項目 1-14,2-15,3-5

2-4 子育て世代に恵庭の特産物プレゼントみたいなしてほしい

> 2023 年度（令和 5 年度）から、地元の木材を使った木育ファーストイ（森の輪、積み木）を 3～4 か月検診のお子さんとその保護者に贈呈しており、対象となった保護者アンケートからは好評であります。また、現在も結婚・出産・新築に際して、記念樹の贈呈を行なっています。事業の目的によって、手法も変わってくると思いますので、ぜひ具体的なお意見をお聞かせいただければと思います。

記念樹贈呈事業

https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/soshikikarasagasu/keizaibu/hananokytenseibishitsu_hanatomidori_kankoka/hanatokanko/7/2325.html

2-5 職員が責任を持てるよう、異動年限を 3 年程度から 5 年程度にしてもらいたい。

3 年で政策を考えることは難しい。5 年なら何とか。

2-6 職員育成について、もっと費用をかけてほしい。どうでもいい研修より中身のある研修を。職員の能力をあげるよう、省庁との相互人事や地域活性化企業人の活用など、よそものを取り入れてほしい。

> 異動の年限、職員研修の内容、実態について十分把握していないため、まずは現状を確認していきます。

外部人材との交流など、外部の視点を入れていくことは組織の硬直化を防ぐ意味でも意義があることだと思いますので、提案をしていきたいと思っています。

2-7 パワハラが起きないように 360 度評価を導入してほしい。

一部の権力者が、権力をふりかざしすぎ。

> 恵庭市消防組織風土改革プログラムの中で多面評価制度（360 度評価）を実施しています。ハラスメント対策として必要性を感じますので、提案していきたいと思います。

2-8 公共施設は、複合施設ありきではなく、小中学校の最適利用をしてほしい。

あわせて庁舎の会議室も市民への貸し出しスペースとなるよう、第 2 庁舎配置所管の本庁舎への異動。第 2 庁舎を会議室兼市民への貸し出しスペースとしてほしい。

> 将来を考えると重要な指摘だと思いますが、現時点では、学校や保護者にも理解が得られる段階とはなっていないように感じます。活用に向けた課題について整理した上で、検討したいと思います。

第 2 庁舎は市民会館から近いことから、現状で会議室としての需要が大きいとは感じていません。まずは市民会館の時間区分設定など、使い勝手をよくすることを優先的に考え、第 2 庁舎については、他の公的機能も含めた活用策を検討してみたいと思います。

2-9 庁舎の開庁時間を短くしてほしい。例えば 9 時から 16 時。昼も閉鎖。

> DX の進展や働き方改革などを考慮すると重要なご指摘だと思います。市民の利便性を高めつつ、効率的な体制となるよう提起していきます。なお、ご意見を踏まえ、第 3 回定例会で柏野が質問を行いました。

2-10 市役所の経営視点をいれてほしい。人事、財政、企画、行革が連動するように。

> 重要なご指摘だと考えており、今後も予算や決算の代表質問の中で、人事や行革が行政運営、財政運営と連動しているのか、広い視点からチェックを行っていきたいと思います。

2-11 若手職員の声や、子どもの意見表明など心理的安全性が確保された中で、えらい人たちが聞く場を作してほしい。

> 2021（令和 3）年度には、ポストコロナのまちづくり戦略形成事業という取組が行われ、若手職員の提案が具体化してきたというものがありました。今後も若手職員が声を発しやすい場が必要だと思います。

議会としては、子ども議会などに取り組んできましたが、十分な取組とはなっていないので、子

どもたちの意見表明の機会を設けられるよう、提案をしていきたいと思います。

2-12 盤尻地区の観光はやめてほしい。

> 第 2 期観光振興計画のアクションプランでは、盤尻地区のビジターセンター機能の整備が掲げられ。ハード整備に前のめりでしたが、現在策定中の第 3 期恵庭市観光振興計画では、まずは観光コンテンツを作ること優先しています。箱物ありきの観光振興は望ましくないと思っていますが、民間事業者が、採算の取れる形で付加価値の高いコンテンツを創出できるのであれば、市としてのデメリットは少ないものと考えています。今後も盤尻地区の観光事業がどのように恵庭市全体の観光に寄与するのか、注視していきたいと思います。

2-13 行政評価ではなく、真の行政改革をおこなってほしい。

> 真の行政改革というものが意味するところが、必ずしも明らかではありませんが、限られた職員、財源の中で、いかに重要な仕事に優先順位をおいて仕事を進めるかが大切だと考えており、そこを目指した行政改革が進むよう、求めていると考えています。

2-14 ゼロカーボンシティについてですが、現在島松駅、現駐輪場に複合施設が計画されていますが、その計画内容を見るとソーラーパネルが数枚となっておりこの規模の施設を補う分の電力が発生するのか疑問です。

また「島松地区複合施設整備の基本的な考え方」を確認しましたが防災拠点としての位置づけなのでしょうか？内閣府が定めているガイドラインはどの規模を想定して設計されているのでしょうか？UPS 装置もなく、備蓄倉庫も小さく、計画性が見えないために質問しました。発災時には多くのお年寄・障害者・時間帯により子どもたちが多く滞在する施設のため確認をお願いします。

> ご指摘の通り、施設単体で見たときには、まったくエネルギー収支の均衡が取れるような設計にはなっていませんでした。今後はそうした視点が必要だと考え、第 4 回定例会の一般質問でも、ZEB（ゼロカーボンビルディング）の標準仕様化を求めました。

複合施設の防災機能については、避難生活に必要な物資を保管する防災備蓄倉庫や防災ベンチの設置を予定しており、停電時でも電気が使用できるよう、停電自律型のガスヒートポンプエアコンを導入し、最大 72 時間、電力を供給できる体制を整えることとしています。

また、災害時の各室の活用につきましては、子ども交流スペースや屋内運動スペースなど、主に靴を脱いで利用する空間を市民の避難スペースとして想定していること、壁で仕切られた貸会議室部分は、要支援者の滞在スペースとすること、島松支所の執務スペースについては、避難所の事務スペースとして活用することを想定していることが議会答弁で明らかになっています。

2-15 日ハム 2 軍誘致。恵庭市活性化にのため歓迎します。ですが、一部報道で候補地が出ている状態であり、北広島市のように市有地・国有地・組合の土地とは違い。私有地がほとんどであります。懸念されるのが土地の高額転売や反対派による一部買収など計画が崩れてしまうようなことを心配しますが対策はされているのでしょうか？

誘致の際にはかなりの交通量・住民や住宅増加が見込まれるため、誘致を協議会に任せるのではなく市も協力して計画的に進めるべきではないのでしょうか？

> 報道はあくまでも関係者への取材に基づくものであり、ご懸念への対応として、現時点では市としては候補地を明らかにしていないものと思います。市としては土地開発基金を用意しており、機動的な土地取得を行える体制をとっており、協議の進展に応じて、市が土地取得を行うことは可能なものと考えております。

「協議会に任せる」という考えは承知をしておらず、あくまでも市がファイターズと誘致に向けた協議を行っているものと認識しています。なお、第 3 回定例会での議会答弁では、「きてくれるのであればできる限りの対応をしたい」という答弁でしたが、第 4 回定例会では「市が誘致を進める」とより積極的な姿勢が示されたところです。関連項目 1-14,2-3,3-5

2-16 声を上げられない人に寄り添う政策を常に考えていただきたい。

> 2 名の会派ではありますが、幅広く情報収集を行い、顕在化しづらい市民の声の把握に努めているつもりです。それでもどうしても限界がありますので、こうした匿名での意見聴取などの機会を通じて、私たちが気づいていない分野でのご意見をお聞かせいただけますと幸いです。

3 その他、恵庭市議会や市民と歩む会への要望があれば、お聞かせください。

3-1 多様化の時代ですが、自分勝手に生きるのではなく、多様なコミュニティを推進し、活動しやすくする。それが政治であることを是非推進していただきたい。

> これまでのコミュニティは地域など物理的な距離が近いことが大きな要素となっていました。今はインターネットなどの普及により、地域の枠を超えて、コミュニティ形成が可能となりました。私たちも新たな手法も模索していきたいと思います。

3-2 議員や市長ともっと繋がりたい。結局繋がりが少ない事で市民の声との乖離が生まれ、政治離れがすすんであると思います。

> 会派や個人としては定期的な対話の場や勉強会の設定などを行ってきましたが、まだまだ十分ではないかもしれません。どのような方法がよいか、具体的にご提案をいただければ、新たな取組も行っていきたいと思います。

3-3 市民の知識のレベルが低いことも課題なので、そのためにも、小さな下部組織であったり、協力団体をつくっていただきたい。支援団体ではなくて、地域で楽しいことをする集まり、そして勉強できる集まり。自治会がたぶん 1 番近いですが、

> 私たちの会派は、従来のような支援団体ではなく緩いつながりの中で市民と繋がるが必要だと考え、特定団体との意見交換ではなく、広く市民に開かれた議会報告会を年 4 回の定例会ごとに開催してきました。また、年に 1 回、市政についてテーマを決めて、市民と一緒に学ぶ勉強会を開催してきました。ご提案にいただいた協力団体のような、市政について一緒に考えていけるつながりができるように、さらなる活動を考えていきたいと思います。具体的なアイデアをお寄せいただけると幸いです。

3-4 町内会でも同じことをしていますが、町内会は回覧板でまわっており、改善要望と住所・氏名・電話番号と公開した状態で回さなければならない状態です。このような匿名で投稿できるのは素晴らしい施策かと思います。今後とも続けてください。

> 個人情報公開の中で、意思表示するのはハードルが高いと思います。匿名だからこそ率直なご意見をいただける場合もあると考えますので、今後ともこのような手法で市民のみなさんの声を聞いて行きたいと考えています。

3-5 市民と歩む会は他の会派とは違い市民の声を議会または関係場所に届けるという数少ない会派と思います。今後がんばってください。

市議会だよりでは日ハム 2 軍誘致には関心がないのかあまり質疑がないように思われますが、市議会側は消極的なのでしょうか？

> 私たちの会派は固定的な支援基盤を持たないからこそ、広く市民の声を聴く事ができると考えています。これからも丁寧に市民の声を聴き、市政に届けていきたいと思っています。

日ハム 2 軍誘致については、各議員の考えに違いはあると思われますが、柏野は議会で質問してきましたし、令和 7 年第 3 回定例会、第 4 回定例会では他の議員も質問していました。現時点では市から議会側への具体的な情報提示はありませんが、誘致に関して公費負担が市民にとって過度にならないよう、議会でも積極的な議論が必要だと思います。 関連項目：1-14,2-3,2-15

3-6 目先の政策にとらわれずに、恵庭の未来の為に真に必要な政策を実行して頂きたいです。

> 私たち会派は、将来的な財政負担が過度にならないよう、市の事業をチェックしてきました。市民ニーズにできるだけ対応できれば良いのですが、一方で、それによって将来にツケを回すことになってはいけないと考えています。これからもチェック機能としての役割を果たしていきたいと思います。